

豊岡市記者配布資料

年月日	部課名	電話	責任者 (役職名)
2026 年 7 月 22 日(水)	日高振興局 地域振興課	0796-21-9056 (内線 5402)	川角洋祐 (課長)

(件名)

道の駅神鍋高原の新レストラン
「高原キッチン 469-KOGEN KITCHEN 469-」オープン

(内容)

道の駅神鍋高原(運営:株式会社日高振興公社)は、2026 年 8 月 2 日(日)に新レストラン「高原キッチン 469 -KOGEN KITCHEN 469-」をオープンします。同日、道の駅全体もリニューアルオープンします。

詳細は別紙のとおりです。

《問合せ》

日高振興局地域振興課係(担当:川角・和田)

TEL 21-9056(内線 5402)

2026年7月22日

道の駅神鍋高原（運営：株式会社日高振興公社）



**直売所の野菜が、キッチンの一皿に。
道の駅神鍋高原の新レストラン「高原キッチン469」、
2026年8月2日（日）オープン**

神鍋高原の人気店「アグリガーデン」がプロデュース。コンセプトは「みんなで作るレストラン」

道の駅神鍋高原（兵庫県豊岡市日高町栗栖野59-13、運営：株式会社日高振興公社）は、2026年8月2日（日）に新レストラン「高原キッチン469 -KOGEN KITCHEN 469-」をオープンします。同日、道の駅全体もリニューアルオープンします。プロデュースは、2013年10月から神鍋高原で人気を集めてきたレストラン「アグリガーデン」の北村元気氏が担当します。直売所の野菜がキッチンの一皿になり、美味しかったら帰りに素材を買って帰れる、生産者とお客様が繋がる仕組みで営業していきます。

■ 店名とロゴについて

店名の「469」は、神鍋山の標高に由来します。神鍋山は、近畿で唯一歩いて登れる噴火口を持つ、神鍋高原のシンボルです。ロゴのコンセプトは「神鍋高原の風と土が育てたごちそうキッチン」。数字の「469」に神鍋山のモチーフを重ね、豊かな大地の温もり、高原の爽快感と安心感を表現しました。コンセプトカラーのグリーンは、神鍋の豊かな緑と、みずみずしく育つ「高原野菜」の新鮮さを象徴しています。

■ コンセプトは「みんなで作るレストラン」

生産者・直売所・レストランがひとつになるお店を目指します。直売所の野菜がキッチンの一皿になり、美味しかった素材は帰りに直売所で購入できます。店舗の改修だけでなく、働くスタッフもチームも新しくなって、オープンの日を迎えます。

■ プロデュースはアグリガーデン

アグリガーデンは、2013年10月のオープンから神鍋高原で人気を集めてきたレストランです。2026年7月20日（月）に元の場所での営業を終了しました。おなじみのアグリガーデンメニューは、高原キッチン469で引き続き提供します。

■ 今後の情報公開について

店名・ロゴは、2026年7月21日（火）に公式ホームページと公式SNSで発表済みです。メニューをはじめとした詳しい情報は、確定しだい順次公開します。

■ 店舗概要

店名 : 高原キッチン469 -KOGEN KITCHEN 469-
所在地 : 道の駅神鍋高原内（〒669-5372 兵庫県豊岡市日高町栗栖野59-13）
オープン日 : 2026年8月2日（日）※道の駅神鍋高原リニューアルオープンと同日
プロデュース : アグリガーデン（北村元気氏）
運営 : 株式会社日高振興公社
公式サイト : <https://michinoeki-kannabe.com>

■ 道の駅神鍋高原のリニューアルについて

道の駅神鍋高原は、2025年7月23日（水）から改修工事を進めています。工期は2026年7月31日（金）までです。2026年8月2日（日）にリニューアルオープンします。売店・農産物直売所ふれあいふぁーむは、2026年6月5日（金）に売り場を一新してリフレッシュオープンし、年中無休で営業中です。

■ 本件に関するお問い合わせ・取材のご相談

道の駅神鍋高原（運営：株式会社日高振興公社）

担当：川辺

〒669-5372 兵庫県豊岡市日高町栗栖野59-13

TEL：0796-45-1331

メール：michinoeki@michinoeki-kannabe.com

※ロゴデータ・店舗ビジュアル画像のご提供が可能です。お気軽にお問い合わせください。